

一般向け 今川図書館だより

いまがわーんど

2020年 1月号

今月のテーマ

「スタート」



スタート

今川図書館
お楽しみ
致します

2020

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



今月の特集「スタート」



光あふれる、新しい年が始まりました。

1月は、やってみたかったことへの挑戦や、新たな目標に向かってスタートするのに、ぴったりの月ですね。

充実の1年になるよう願いを込めながら、スタートにふさわしい本をご紹介します。

『英語でガイドする日本』



西藤浩子 / 著 2012年 研究社 **837 二**

2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの外国人観光客が日本に来ると予想されます。そんな外国人観光客に、英語でスマートに案内が出来たらと思いませんか。

本書は、「スクランブル交差点」や「デパ地下」など日本人の生活に密着した身近なスポット、「目的地まで歩けるか」など外国人の疑問や・要望に対応した豊富な情報などを、簡単な英語で説明できるように工夫されています。

ガイドのためだけでなく、身近な場所の歴史など日本の再発見もでき、面白く英語を学ぶことができます。オリンピックを機会に英語の勉強を始めませんか。

今年はずみ年。はずみは「寝ず身」とも書き、寝る間も惜しむほどまじめにコツコツと働き、花を咲かせる年になるのだそうです。令和2年がみなさまにとって幸せな年となりますように。今年も今川図書館をよろしく願い申し上げます。



『ロボットの歴史を作ったロボット 100』

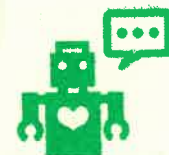
アナ・マトロニック / 著 2017年

日経ナショナルジオグラフィック社 **548 マ**

ロボットと聞いて何を思い出しますか。鉄腕アトム、スターウォーズのR2-D2、C-3POのペア…。幼い頃遊んだおもちゃのロボットとの出会いが、自分にとっての初めてのロボットだという方もいることでしょう。

おもちゃや道具に生命を吹きこむという発想や願いは紀元前からあり、書物にも描かれてきました。それらは、探求心のかたまりのような人々の熱意によって、少しずつ実現化されています。かつて映像で見たものが、今、人間をサポートするために実際に存在しています。そしてさらに、AIという人工知能と共にロボットの未来の可能性が広がっています。

この本に登場するなつかしいロボットたちを見ると、思わず笑顔がこぼれてしまいそうですね。



『人生後半、はじめまして』

岸本葉子 / 著 2019年 中央公論新社 **914.7 キシ**

人生後半は終わりに向かっていくだけではない。とまどいながらも、今できることを見つけたい。これは「ズンバをはじめて」「旧式のまま」「生きていって自転車操業」など日本経済新聞に連載されたものを中心に、著者の日々の生活を綴ったエッセイ集。

「お金の専門家に言われたこと」の章では「今、高齢者のために何かしていますか」の問いかけに、「ある程度の年になったら次世代のためになることを実践してみたい。」と答える、意欲あふれる著者。

『はじめまして』が象徴する新鮮なドキドキ感が伝わり、年をとるのが楽しくなりそうな本です。



『京都はじまり物語』

森谷尅久 / 著 2013年 東京堂出版 219.6円

京都は古い伝統と歴史をもった街である。その長い歴史の中で、私たちの身近にあるものに関わる“はじまり”が、この街にはあるという。

たとえば、日本初の小学校は明治2年に京都に開校した。また、日本で初めて映画が上映されたのも京都で、明治29年にフランスから持ち帰ったものだった。

他にも、スポーツや建築物など、様々なものごとの発祥が古都京都に多いことを、知られざる歴史のエピソードを交えて紹介する。進取の気概に富みながらも、古(いにしえ)の香り漂う京都の物語は、新年に読みたい本である。



『これからはじめる山歩き より豊かな人生を楽しむために』

好日山荘おとな女子登山部/監修 2018年 ナツメ社 786.1円

「富士山でご来光を仰ぎたい」「高原を元気に歩く山ガールになりたい」など、山歩きを始める理由は様々でしょう。「山の日」の祝日制定以来、ブームが続いている山歩きですが、ハイキング感覚では危険を伴います。

本書は、山歩きの計画、体力に合わせたコース選び、山ウェアや山道具の基本と選び方を写真付きで詳細に紹介し、また、ストックの使い方、歩幅や足の使い方など、山歩きの技術や事前の体力作りまでも丁寧に、コーチングしてくれます。まさに、これからチャレンジする方の味方となるスタートブックです。

大自然を背景に、山小屋で味わうカレーやコーヒーは格別のおいしさだとか。健脚で山を楽しむ、そんな1年もいいですね。



YA におすすめ!



中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します。
今月は、職場体験にきた中学生が紹介してくれた本です。

『ファンタジーを読む』

河合隼雄 / 著 1996年 講談社 BGカ

ぼくたちが好んで読む本の中でも、ファンタジーはワクワクしながら読み進めるジャンルだ。「ハリーポッター」や「ネバーエンディングストーリー」など、映画やドラマに映像化されているものが多く人気がある。

この本では、心理学者である作者が、ファンタジーを心理学の立場から読み解いている。人間は「外面的な体」と「精神的な心」と、この二つでは説明できない部分の「たましい」から出来ている。ファンタジーを「たましいの現れから生まれる作品」だと考えると、読者は、作者から実に豊かなメッセージをたくさん受けとっている。そのメッセージには、人が人生の様々な場面で遭遇する「こころの問題」を解くカギが秘められているそう。

取り上げられている13の物語はどれも珠玉の名作で、何度読んでも味わい深い作品だ。(井草中学校の2年生が紹介してくれました)



☆「YA コーナー みんなの掲示板」☆

1月のテーマ



もしも、魔法がつかえたなら
どんなことをしてみたいですか。

楽しいこと、愉快なことを教えてください。



新着本コーナー



今川図書館に新しく入った本の中から、おすすめを紹介します。

『向田邦子の本棚』

向田邦子 / 著 2019年 河出書房新社 910.28 ㊦

「博覧強記というのとは、ちょっと違う。いま少し現実的というか、向田さんの知識は暖かい温度のようなものを感じる知識であった。」これは向田さんと交流がある久世光彦さんの言葉。

小学生時代から、父の書棚の全集を読みふけり、好きな本は二冊三冊と買って人にすすめる。読書と人を愛した作家の本棚には、あたたかな時間が詰まっている。「食いしん坊におくる100冊の本」ほか、エッセイや対談も収録。母校である実践女子大学の「向田邦子文庫展示室」には、蔵書の一部と共に、愛用品なども一般展示されている。

向田作品の糧となり、彼女の世界を支えていた本たちに、あらためて触れてみたい。



☆☆☆初笑い落語会☆☆☆

落語家 桂 扇生師匠

(一般向けの落語会)

笑う門には福来る！令和2年の新春に、笑顔の花を咲かせましょう！

日時：1月25日(土) 午後2時～3時30分

場所：2階 ホール(ゆうゆう館)

申込方法：1月5日から、電話またはカウンターで申込み

定員40名(申込順)

みどりのコーナー

地域の緑化推進を、本のチカラで強力にサポート。
今川図書館がおすすめする緑化関連資料をご紹介します。

『四季の野草リース』

辻典子 / 著 2018年 世界文化社 627 ツ

リースといえば、クリスマスの時期に、ヒイラギの葉を使ったものが思い浮かびますが、季節に合わせて、自分のお気に入りの植物を材料にしたリースを作ってみてはいかがでしょうか。

春は「タンポポの綿毛のリース」夏には「豆軍配(まめぐんばい) なすなとアザミのリース」「金えのころ草(ねこじゃらし)のリース」は秋。そして、冬には「柿のへたのリース」。どれも野原や林に群生している植物を使い、ナチュラルでかわいらしく仕上がっています。

他にも、季節に合わせた材料を用いるリースの作り方を、写真と共に丁寧に説明しています。自然素材のリースは保存条件が良ければ2、3年も楽しむことができるそうです。インテリアとして飾れば、お部屋が華やぎますね。



◇展示「冬にかがやく」◇

木枯らしが吹き、落ち葉の舞い散る冬枯れの季節に、輝き始める冬の植物たち。土のなかで力を蓄えている種子にも思いを巡らせながら、寒い季節に凛と咲く、花たちの美しさを愛でましょう。

場所：1階 入口横のコーナー





1月 今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			年始 休館日	年始 休館日	年始 休館日	年始 休館日
5	6	7	8	9	10	11
	休館日			おはなし会		
12	13	14	15	16	17	18
	おはなし会	あかちゃん おはなし会		休館日		
19	20	21	22	23	24	25
	おはなし会			おはなし会	あかちゃん おはなし会	初笑い 落語会
26	27	28	29	30	31	
	おはなし会					
開館時間 月～土 9時～21時 〇 の日（日曜・祝日）は9時～17時 休館日 第1月曜日・第3木曜日						

おはなし会については、児童向け図書館だよりをご覧ください。

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431